

2026 年度

人 文 社 会 学 部

健康メディカル学部

(医療科学科 スポーツサイエンスコース)

共 創 学 部

健康医療スポーツ学部

(医療スポーツ学科 トレーナー・スポーツコース、アスリートコース、動物医療コース)

学 力 試 験

情 報

試験開始の合図があるまでに、次の注意事項をよく読んでください。

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないでください。
2. 解答用紙は、マーク用解答用紙と記述用解答用紙があります。
マーク式の問題はマーク用解答用紙に以下の例のようにマークしてください。
(例)

解答	
ア	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
イ	① ② ③ ● ● ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

※同じ解答欄に複数のマークをすることもあります

記述式の問題は記述用解答用紙に記入してください。

3. 机の上には、受験票・鉛筆・シャープペンシル・消しゴム・鉛筆削り（電動式は除く）・時計（時計機能だけのもの）・眼鏡以外のものは置かないでください。
 4. 問題・解答用紙の両方に必ず受験番号・氏名を記入してください。また、受験番号をマークしてください。提出の前には記入漏れがないか再度確認してください。
 5. 問題は3問全問解答必須です。
 6. 試験中に問題冊子の印刷不鮮明・ページの落丁・乱丁に気付いた場合、また問題の内容について質問などのある場合には、手を挙げて監督者に知らせてください。
 7. 問題冊子の余白等は適宜利用して構いません。
 8. 配布された問題・解答用紙は試験終了後回収しますので、持ち帰らないでください。
- ◇携帯電話は、電源を切った上で鞆の中にしまってください。

志望学科・コースの左枠に○をつけてください（第一志望のみ）

志望学科・コース	人文社会学部			共創学部		
	小学校・特別支援コース		経 営 コ ー ス		デジタル共創学科	
	保育・幼稚園コース		トレーナー・スポーツ経営コース		健康医療スポーツ学部	
	福 祉 コ ー ス		観 光 経 営 学 科		トレーナー・スポーツコース	
	メディア文化コース		健康メディカル学部		アスリートコース	
	グローバルコミュニケーションコース		スポーツサイエンスコース		動物医療コース	
受験番号				氏名		

【問題 1】 次の問い〔1〕～〔7〕に答えなさい。

〔1〕 「個人情報の保護に関する法律」(個人情報保護法) に関する次の文章の空欄にあてはまるものを、解答群から一つずつ選びなさい。

個人情報とは、個人に関する情報であり、それらの情報で個人が特定できるもの、またはが含まれるものである。

【, の解答群】

- ① 生存する ② 存在した ③ 死亡した ④ 匿名加工情報
- ⑤ 個人識別符号 ⑥ ジオタグ

〔2〕 知的財産権について、正しく説明しているものを、解答群から一つ選びなさい。

【の解答群】

- ① 著作者人格権は産業財産権のひとつである。
- ② 著作権は特許庁に申請する必要がある。
- ③ 産業財産権はどれも保護期間の延長はできない。
- ④ 著作権は一定期間が過ぎると消滅する。

〔3〕 情報セキュリティにおいて、「いつでも利用したいときに情報を利用できる」ことは何というか、解答群から一つ選びなさい。

【の解答群】

- ① 機密性 ② 完全性 ③ 可用性 ④ 真正性 ⑤ 信頼性

〔4〕 暗号化技術に関する次の文章の空欄にあてはまるものを、解答群から一つずつ選びなさい。

情報をネットワーク通信するとき、第三者に盗聴されても内容が分からないようにする技術を暗号化という。暗号化技術には、大きく分けて鍵暗号方式と公開鍵暗号方式があり、鍵暗号方式では、暗号化と復号で鍵を使用する。

【, の解答群】

- ① 秘密 ② 共通 ③ 非公開 ④ 同じ ⑤ 異なる

〔5〕 2進数の00101100と10001001を足した結果を16進数で表した結果を回答群から一つ選びなさい。

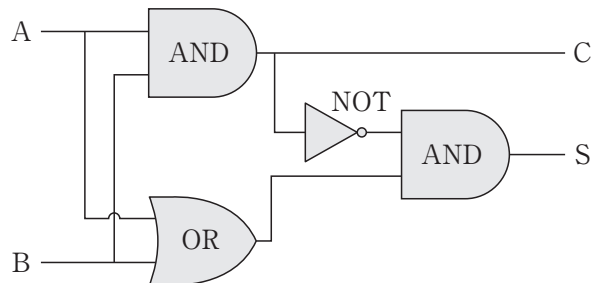
【の解答群】

- ① A1 ② B1 ③ A3 ④ B3 ⑤ A5 ⑥ B5

〔6〕 図1-1に論理回路図とその真理値表を示す。空欄に入る値を選びなさい。 ,

【, の解答群】

- ① 1 ② 2 ③ 3 ④ 4 ⑤ 5 ⑥ 6 ⑦ 7 ⑧ 8
⑨ 9 ⑩ 0



入力		出力	
A	B	C	S
0	0	0	0
0	1	0	1
1	0	0	1
1	1	ク	ケ

図1-1 論理回路図と真理値表

〔7〕 情報ネットワークについて、次の文章の空欄にあてはまる最も適切なものを、それぞれの解答群から一つずつ選びなさい。

- (1) IPv4の情報ネットワークにおいて、IPアドレスはコンピュータを特定するネットワーク上のアドレスで ビットで表される。これを4つに区切って10進数で表示する。今、192.168.1.92/26 と記載されているコンピュータを利用している。「/26」はIPアドレスのネットワーク部の bit 数を表している。ネットワークアドレスのホスト部のビットは全て であるため、このコンピュータが接続しているネットワークアドレスは である。なお、このネットワークに同時につなげることができるコンピュータは 台である。

【, の解答群】

- ① 8 ② 10 ③ 26 ④ 30 ⑤ 32 ⑥ 46 ⑦ 48
⑧ 62 ⑨ 64 ⑩ 128

【の解答群】

- ① 1 ② 2 ③ 3 ④ 4 ⑤ 5 ⑥ 6 ⑦ 7 ⑧ 8
⑨ 9 ⑩ 0

【の解答群】

- ① 192.168.1.0 ② 192.168.1.32 ③ 192.168.1.64 ④ 192.168.1.92
⑤ 192.168.1.126 ⑥ 192.168.1.255

- (2) 400×600 ピクセルのカラー画像 (1画素につき3B (バイト)) を100枚送信する。転送する画像データは1枚につき約 [KB] である。ただし、1 [KB] = 1024 [B] とし、四捨五入して整数値とする。

転送速度が100 [Mbps] のとき、データ転送にかかる時間は 秒である。ただし、1 [Mbps] = 10^6 [bps] であり、伝送効率は100%とし、画像のデータ量以外のデータは考えないこととする。

【, の解答群】

- ① 1.92 ② 5.76 ③ 11.52 ④ 234 ⑤ 240 ⑥ 576 ⑦ 703
⑧ 720

【問題2】 次の問〔1〕～〔3〕に答えなさい。

算術演算

加減乗除の四則演算は、『+』、『-』、『×』、『/』で指定する。

整数の除算では、商を『÷』で、余りを『%』で計算することができる。

比較演算

数値の比較演算は、『=』、『≠』あるいは、『>』、『≥』、『≤』、『<』で指定する。演算結果は、真か偽の値となる。

〔1〕 次の文章の空欄〔ア〕～〔カ〕にあてはまる最も適切なものを、それぞれの解答群から一つずつ選びなさい。

1以上の数 n を入力して図2-1のように「*」と「 」(スペース)を使って文字を描くプログラムを作成する。仕様は以下とする。

- ・1段目には「 」(スペース)を〔ア〕個書く、続けて「*」を1個書く。その後、改行する。
- ・2段目には「 」(スペース)を〔イ〕個書く、続けて「*」を2個書く。その後、改行する。
- ・ n 段目には「 」(スペース)を〔ウ〕個書く、続けて「*」を n 個書く。

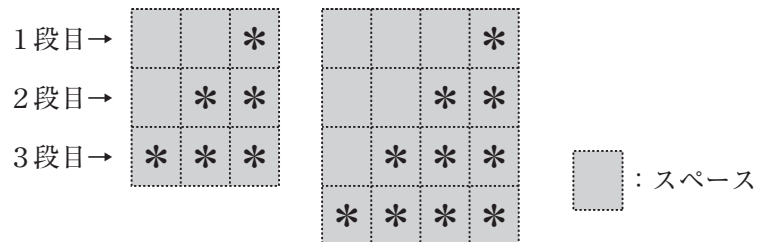


図 2-1 表示結果例〔1〕

【〔ア〕～〔ウ〕の解答群】

- ① n ② $n - 1$ ③ $n - 2$ ④ $n - 3$ ⑤ $n + 1$ ⑥ $n + 2$
⑦ $n + 3$ ⑧ 0 ⑨ 1 ⑩ 2

プログラムを図 2-2 のように記述した。

```
(01)  n ← 1 以上の整数
(02)  i を 1 から n まで 1 ずつ増やしながら
(03)      もし  ならば
(04)          j を 1 から  まで 1 ずつ増やしながら
(05)              |   スペースを 1 個書く
(06)              |   を実行する
(07)      を実行する
(08)      j を 1 から  まで 1 ずつ増やしながら
(09)          |   "*" を 1 個書く
(10)      を実行する
(11)      改行する
(12)      を繰り返す
```

図 2-2 文字描画プログラムの処理手順〔1〕

【の解答群】

- ① $i = n$ ② $i \neq n$ ③ $j = n$ ④ $j \neq n$ ⑤ $i = n - 1$
⑥ $i = n + 1$

【, の解答群】

- ① n ② i ③ $n + i$ ④ $n - i$ ⑤ $n + i + 1$ ⑥ $n - i + 1$

〔2〕 次の文章の空欄「記述①」にはあてはまる条件式を記述用解答用紙①に書きなさい。

次に「*」の色を図 2-3 のように白と黒で変化させる。最も左にある「*」を黒にして、その後は交互に変化させる。

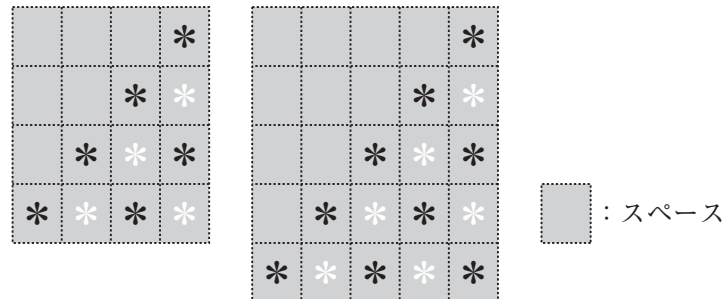


図 2-3 表示結果例〔2〕

プログラムを図 2-4 のように記述した。「記述①」は、条件式とし、変数や演算子、比較演算子を用いて論理演算式にすること。

```
(01)  n ← 1 以上の整数
(02)  i を 1 から n まで 1 ずつ増やしながら
(03)      もし ウ ならば
(04)          j を 1 から エ まで 1 ずつ増やしながら
(05)              スペースを 1 個書く
(06)          実行する
(07)      実行する
(08)      j を 1 から オ まで 1 ずつ増やしながら
(09)          もし 「記述①」 ならば
(10)              黒で "*" を 1 つ描く
(11)          実行し、そうでないなら
(12)              白で "*" を 1 つ描く
(13)          実行する
(14)      を繰り返す
(15)      改行する
(16)  を繰り返す
```

図 2-4 文字描画プログラムの処理手順〔2〕

- 〔3〕 次の文章の空欄 キ ～ ケ にあてはまる最も適切なものを、それぞれの解答群から一つずつ選びなさい。また、空欄 記述② には当てはまる内容を **記述用解答用紙②** に書きなさい。
- さらに、図 2-5 に示すような並びで文字を出力するようにプログラムを変更する。

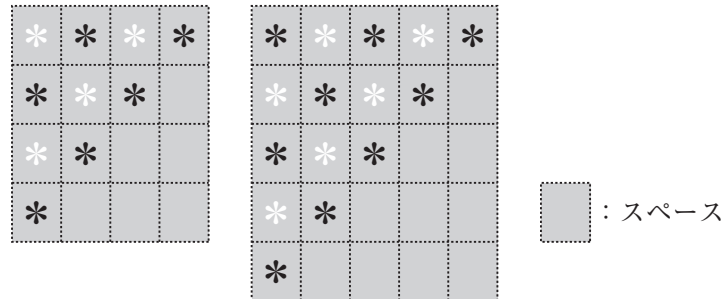


図 2-5 表示結果例〔3〕

このプログラムでは、 i 行目に書く「*」の個数は キ であり、その個数が偶数か奇数かによって黒と白の「*」の書く位置が変わる。例えば、 $n = 4$ のとき、1 行目に書く「*」の個数は 4 個であり、左から 1 番目に白の「*」を描く。一方、2 行目に書く「*」の個数は 3 個であり、左から 1 番目には黒の「*」を書く。

これらのことから、 キ が奇数のとき、 j 番目の「*」の色は j が ク のときは黒、それ以外の場合は白になる。また、 キ が偶数のとき、 j 番目の「*」の色は j が ケ のときは黒、それ以外の場合は白になる。

【 キ の解答群】

- ① n ② i ③ $n + i$ ④ $n - i$ ⑤ $n + i + 1$ ⑥ $n - i + 1$

【 ク , ケ の解答群】

- ① $(n + i - 1) \% 2 = 0$ ② $(n + i - 1) \% 2 = 1$ ③ $(n + i + 1) \% 2 = 0$
 ④ $(n + i + 1) \% 2 = 1$ ⑤ $i \% 2 = 0$ ⑥ $i \% 2 = 1$
 ⑦ $j \% 2 = 0$ ⑧ $j \% 2 = 1$

プログラムを図 2-6 のように記述した。

記述②は、「キが奇数のとき」等の判定条件は比較演算子を用いて記述すること。

```
(01)  n ← 1 以上の整数
(02)  i を 1 から n まで 1 ずつ増やしながら
(03)      j を 1 から キ まで 1 ずつ増やしながら
(04)          もし 記述② ならば
(05)              もし ク ならば
(06)                  黒で "*" を 1 つ 描く
(07)                  を実行し、そうでないなら
(08)                  白で "*" を 1 つ 描く
(09)                  を実行する
(10)              を実行し、そうでないなら
(11)              もし ケ ならば
(12)                  黒で "*" を 1 つ 描く
(13)                  を実行し、そうでないなら
(14)                  白で "*" を 1 つ 描く
(15)                  を実行する
(16)              を実行する
(17)      を繰り返す
(18)      改行する
(19)  を繰り返す
```

図 2-6 文字描画プログラムの処理手順〔3〕

【問題3】 次の文章を読み、後の問い〔1〕～〔2〕に答えなさい。

表 3-1 は 2024 年の東京都の日平均気温の月平均値と、あるカフェのアイスクリームとホットコーヒーの月毎の売り上げを示している。月ごとに日数は異なるが、ここでは月ごとに同じ日数営業していたとする。

(気温の出典：気象庁 <https://www.jma.go.jp/jma/menu/menureport.html>)

表 3-1 東京都の日平均気温の月平均値（2024 年）とあるカフェの売り上げ

月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
月平均気温（℃）	7.1	8	9.6	17.1	20	23.1	28.7	29	26.6	20.6	13.7	8.1
アイスクリーム	450	370	420	610	920	1010	1400	1390	850	600	450	580
ホットコーヒー	1250	1180	1050	920	850	790	710	690	750	880	1020	1300

※アイスクリーム、ホットコーヒーは売り上げ（単位：百円）

〔1〕 次の文章の空欄 ～ にあてはまる最も適切なものを、それぞれの解答群から一つずつ選びなさい。また、空欄 , には当てはまる条件式を , に書きなさい。

A さんは日平均気温の月平均値（月平均気温）とアイスクリームとホットコーヒーの売り上げの関係を回帰分析で調べることにした。気温がそれぞれの売り上げを説明しているかを確認する。

まず、気温を , 売り上げを としてグラフを作成し、回帰直線式から求める推測値と実測値の残差を最小にする係数を求める。

i 月の月平均気温を $d(i)$ 、売り上げを $s(i)$ とする。また、回帰直線を $y = ax + b$ とするとき、 i 月の残差を求める式を $d(i)$ 、 $s(i)$ 、 a 、 b を使って と表すことができる。また、1 月から 12 月までの残差の 2 乗の合計を求める式は と表すことができる。

【, の解答群】

- ① 回帰変数 ② 説明変数（独立変数） ③ 目的変数（従属変数） ④ 相関係数
⑤ 絶対変数

それぞれのデータに対して、各月の残差の 2 乗の合計が最も小さくなるように、係数 a と b を最小二乗法で求めた。結果のグラフを図 3-1 に示す。グラフ中に各データをプロットし、回帰直線式と決定係数を示す。

アイスクリームの売り上げとホットコーヒーの売り上げはどちらも高い決定係数となったが、回帰直線式によって、より正確に表されているのは である。また、平均気温と売り上げの関係は、アイスクリームは , ホットコーヒーは を示している。

【の解答群】

- ① アイスクリームの売り上げ ② ホットコーヒーの売り上げ ③ 月平均気温

【, の解答群】

- ① 無相関 ② 正の相関関係 ③ 負の相関関係

これらの結果からいえることを解答群から一つ選びなさい。

【の解答群】

- ① 月平均気温が高いと売り上げが上がる傾向にあるのはアイスクリームである。
② 月平均気温が高いと売り上げが上がる傾向にあるのはホットコーヒーである。
③ ホットコーヒーの売り上げは月平均気温に関係ない。
④ 月平均気温が低いと売り上げが上がる傾向にあるのは、アイスクリームである。

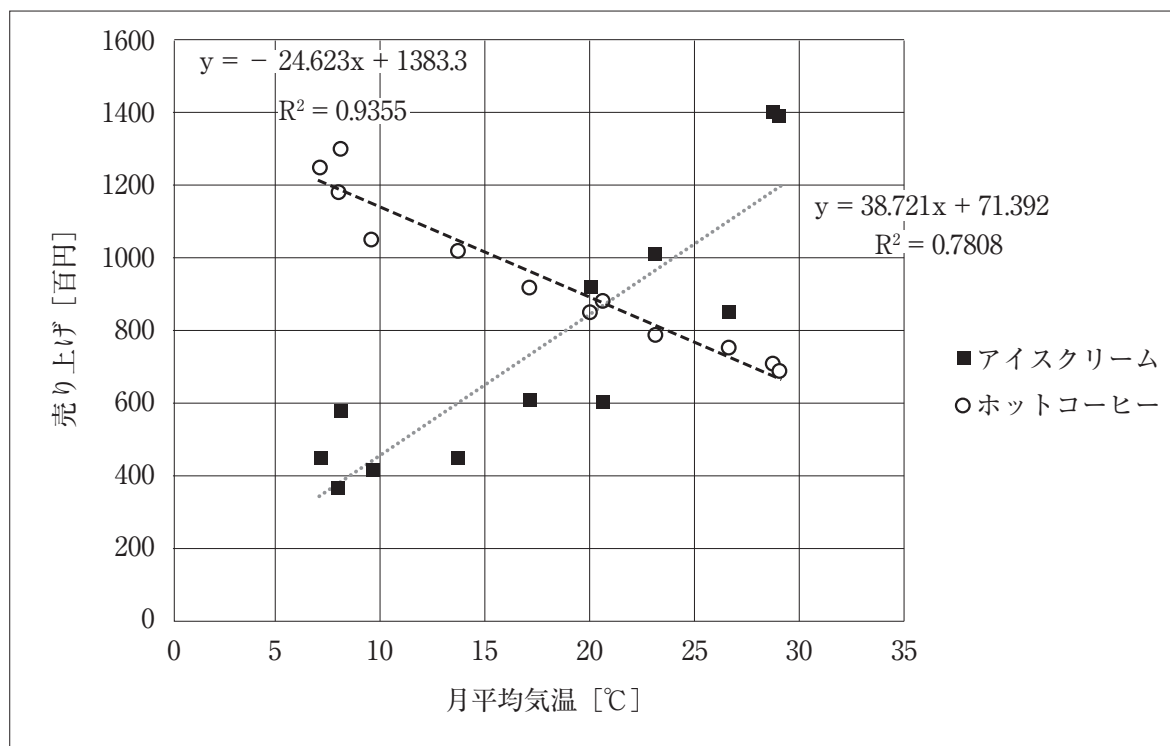


図 3-1 2024年の東京都の月平均気温と売り上げ

〔2〕 次の文章の空欄〔キ〕～〔サ〕にあてはまる最も適切なものを、それぞれの解答群から一つずつ選びなさい。解答は、重複して選んでもよい。

さらに図 3-2 に示す箱ひげ図を作成して、データのばらつきなどを確認した。A と B はアイスクリームとホットコーヒーのどちらかを表している。

箱ひげ図より、売り上げの平均値は〔キ〕の方が高く、最大値は〔ク〕の方が高い、最小値は〔ケ〕の方が低いことが分かる。また、ばらつきが小さいのは〔コ〕である。

グラフやデータより箱ひげ図の A は〔サ〕である。

【〔キ〕～〔コ〕の解答群】

- ① A ② B ③ 該当なし

【〔サ〕の解答群】

- ① アイスクリームの売り上げ ② ホットコーヒーの売り上げ ③ 月平均気温

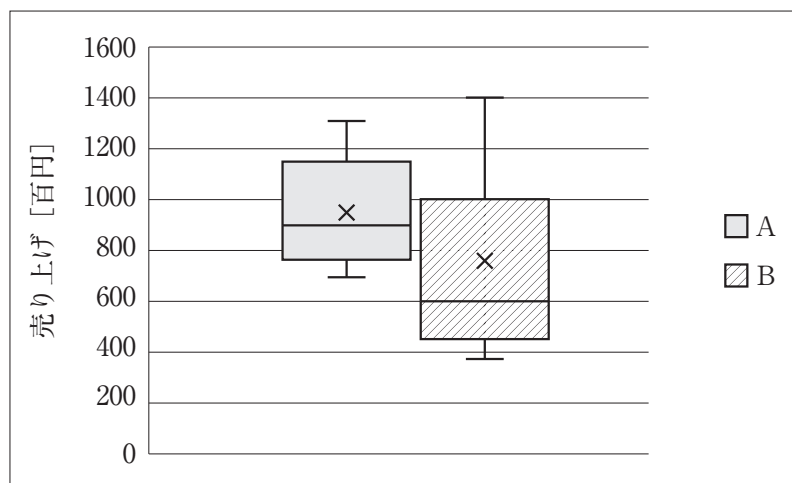


図 3-2 アイスクリームとホットコーヒーの売り上げの箱ひげ図

